

1. 科目名 (単位 数)	権利擁護と成年後見 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3101 SCMP3101
2. 授業担当教員	近藤 重晴		
4. 授業形態	講義・討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	1 権利擁護の基本的な考え方・成年後見制度の概要・成年後見人の活動の実際について、実務の動向も含めて学ぶとともに、成年後見制度と関わりのある諸制度や専門職の役割について学ぶ。 2 権利擁護・成年後見制度の理解の前提となる憲法と民法の基本的な考え方を学ぶ。		
8. 学習目標	1 権利擁護相談援助と日本国憲法、民法、行政法とのかかわりを理解、習得し、説明できる。 2 成年後見制度の概要及び成年後見人等の役割、実務について理解、習得し、説明できる。 3 日常生活自立支援事業の概要と成年後見制度との連携について理解し、説明できる。 4 成年後見活動の実際及び権利擁護活動の実際について考察し、理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業内にて提示する。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟・編『権利擁護を支える法制度』中央法規。		
11. 成績評価の規 準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業を通じて、権利擁護の基本的な考え方、成年後見制度の概要、成年後見人の活動等を理解し、説明できるようになっているか。 2. レポート課題を通じて、授業で学んだ知識を活用して、説明できるようになっているか。 3. 期末試験を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加 総合点の40% 2. レポート 総合点の30% 3. 期末試験 総合点の30%		
12. 受講生への メッセージ	日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することが多い専門職として鋭い人権感覚を身につけておくことが重要である。また、成年後見制度利用の需要が増加しており、援助の専門家として法制度と実際の知識が必要である。 毎回の授業時、基本用語等について質問をするので、事前・事後の学習を必ず行っておくこと。 履修にあたっては、次のことを最低限守ってほしい。 1. 指定の教科書は、授業の際必ず持参してくること。 2. 別途配布する資料は、正しく整理して必ず保管しておくこと。 3. 授業中の私語や携帯電話は禁止する。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付けます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ソーシャルワークと法のかかわり 権利擁護に必要な法制度	事前学習	テキスト (pp.2~8) を読んで、ソーシャルワークと法のかかわり権利擁護に必要な法制度について要点を整理しておく。
		事後学習	権利擁護に必要な法制度についてまとめる。
第2回	ソーシャルワークと法のかかわり 憲法と民法について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.9~33) を読んで、ソーシャルワークと法のかかわり憲法と民法について要点を整理しておく。
		事後学習	憲法と民法についてまとめる。
第3回	行政法について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.34~44) を読んで、行政法について要点を整理しておく。
		事後学習	行政法についてまとめる。
第4回	法の規範 法と規範・法の体系、種類、機能について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.46~55) を読んで、法と規範・法の体系、種類、機能について要点を整理しておく。
		事後学習	法と規範・法の体系、種類、機能についてまとめる。
第5回	法の規範 法律の基礎知識、法の解釈・裁判制度と判例について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.56~68) を読んで、法律の基礎知識、法の解釈・裁判制度と判例について要点を整理しておく。
		事後学習	法律の基礎知識、法の解釈・裁判制度と判例についてまとめる。
第6回	権利擁護の意義と支える仕組み 権利擁護の意義・福祉サービスの適切な利用・苦情解決の仕組みについて学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.70~92) を読んで、権利擁護の意義・福祉サービスの適切な利用・苦情解決の仕組みについて要点を整理しておく。
		事後学習	権利擁護の意義・福祉サービスの適切な利用・苦情解決の仕組みについてまとめる。

第7回	権利擁護の意義と支える仕組み 虐待と暴力防止の関係法の概要・障害者差別解消法の概要について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.93~103) を読んで、虐待と暴力防止の関係法の概要・障害者差別解消法の概要について要点を整理しておく。
		事後学習	虐待と暴力防止の関係法の概要・障害者差別解消法の概要についてまとめる。
第8回	権利擁護活動と意思決定支援 意思決定支援とは・意思決定支援のガイドライン・インフォームドコンセントについて学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.106~137) を読んで、意思決定支援とは・意思決定支援のガイドライン・インフォームドコンセントについて要点を整理しておく。
		事後学習	意思決定支援とは・意思決定支援のガイドライン・インフォームドコンセントについてまとめる。
第9回	権利擁護活動と意思決定支援 秘密とプライバシーと個人情報・権利擁護活動と社会の安全について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.137~150) を読んで、秘密とプライバシーと個人情報・権利擁護活動と社会の安全について要点を整理しておく。
		事後学習	秘密とプライバシーと個人情報・権利擁護活動と社会の安全についてまとめる。
第10回	権利擁護に関わる組織、団体、専門職 権利擁護に関わる組織、団体・権利擁護に関わる専門職について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.152~185) を読んで、権利擁護に関わる組織、団体・権利擁護に関わる専門職について要点を整理しておく。
		事後学習	権利擁護に関わる組織、団体・権利擁護に関わる専門職についてまとめる。
第11回	成年後見制度 成年後見制度の概要・後見の概要について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.188~199) を読んで、成年後見制度の概要・後見の概要について要点を整理しておく。
		事後学習	成年後見制度の概要・後見の概要についてまとめる。
第12回	成年後見制度 保佐の概要・補助の概要について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.200~205) を読んで、保佐の概要・補助の概要について要点を整理しておく。
		事後学習	保佐の概要・補助の概要についてまとめる。
第13回	成年後見制度 任意後見の概要・成年後見制度の最近の動向について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.206~220) を読んで、任意後見の概要・成年後見制度の最近の動向について要点を整理しておく。
		事後学習	任意後見の概要・成年後見制度の最近の動向についてまとめる。
第14回	成年後見制度 成年後見制度利用支援事業・日常生活自立支援事業について学ぶ。	事前学習	テキスト (pp.211~229) を読んで、成年後見制度利用支援事業・日常生活自立支援事業について要点を整理しておく。
		事後学習	成年後見制度利用支援事業・日常生活自立支援事業についてまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	権利擁護と成年後見制度について振り返る。
		事後学習	権利擁護と成年後見制度についてまとめる。